



*NATIONAL  
UNIVERSITY  
ADMISSION  
CENTERS*

国立大学アドミッションセンター  
**連絡会議ニュース**

---

第11号 2014年5月

# News 1

## 10周年記念事業関係

平成24年5月30日に岡山で開催された第10回総会で、10周年記念事業として「記念誌の発行」と「セミナー（シンポジウム）の開催」が了承されました。その後、7大学8人による実行委員会が構成され、加盟大学の多大なるご協力もあり、いずれの記念事業も予定どおり遂行することができました。

### 10周年記念誌を発行

記念誌の発行に際し、加盟大学にアンケートをとったところ「各大学アドミッションセンターの機能と組織が分かる資料があるとよい」「AO入試の成果と課題をまとめてはどうか」といった声が複数あったことから、以下のような内容で構成しました。

#### ■第10回総会（平成24年5月30日）における柴田先生講演録

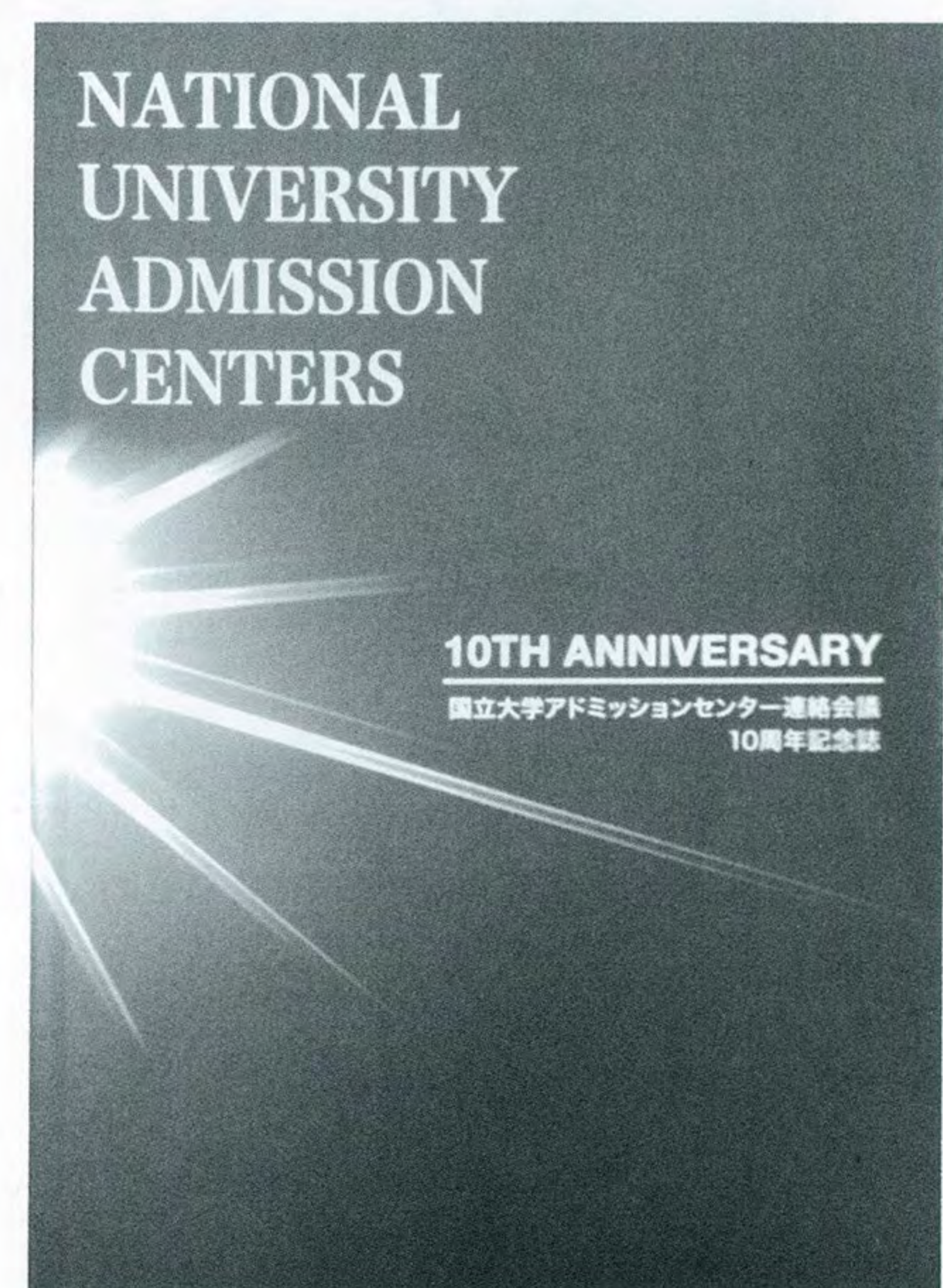
九州大学副学長時代に当会の会長も務められた柴田洋三郎先生（福岡県立大学長）に、「国立大学AO入試の歩みと今後の課題」という演題で、AO導入の経緯や変遷、大学入試の現状や課題等々、幅広い視野に立った講演をしていただきました。詳細な資料とともに、講演録としてまとめました。

#### ■「私の履歴書 AO入試編」 キラリと光る学生達

AO入試で入学した学生（在 student もしくは卒業生）の中から、これはという人材を各大学2人ずつご推薦いただき、「受験した理由」「成果や活動」「今後の目標」などについて熱く語っていただきました。

#### ■加盟大学組織と概要（AO入試の導入・実施状況）

加盟大学の各センターが、学内でどのような位置づけになっているのか、機構・組織図と役割、活動内容などを大学別にまとめました。あわせて、AO入試を実施している大学については、いつ、どの学部で導入したのか、あるいは取り止めたのか、時系列で一覧にまとめました。





## 約120名が参加して10周年記念シンポジウムを開催

国立大学のAO入試は、平成12年度から東北大学、筑波大学、九州大学の3大学でスタートしましたが、25年度にAO入試を実施した大学は48大学と国立大学の半数以上にまで拡大しています。AO入試は出願要件や実施時期、選抜方法がまちまちで明確な定義がない、進学校では隊列を乱す青田買い入試として生徒に受けさせない高校もある一方で、特異な能力を活かす入試としてその役割を評価する声も少なくありません。

そこで、AO入試に対する高校側の意見、AO入試で入学して優秀な成果をあげている卒業生・在学生からの意見も交え、多面的にAO入試を検証するシンポジウムを記念事業として企画しました。

シンポジウムは、10周年の記念事業ということで、加盟大学はもちろん、多くの国公立大学関係者が参加し易い状況を考慮し、平成25年度「全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第9回）」（平成25年6月5日～7日）の第1日目、「大学入試センターセミナー」の前の時間帯に開催することにしました。

入研協大会の会場が東京（国立オリンピック記念青少年総合センター）ということもあり、開催通知（ご案内）を国公立大学長、国立大学AO入試の進学実績が多い首都圏を主体とした高等学校、ならびに関係機関（マスコミ、予備校等）に差し上げたところ、平日のお昼時の時間帯にもかかわらず、国立39大学、公立7大学、高等学校3校、その他4機関から約120名の参加がありました。なお、シンポジウムの様子は『文教ニュース』（平成25年6月24日）にも取り上げられています。

シンポジウムは、栗原会長（岡山大学副学長・アドミッションセンター長）による開会挨拶で始まり、平野氏（文部科学省大学入試室長）ならびに柴田先生（福岡県立大学長）から来賓祝辞が述べられました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、パネリストとして、AO入学者・卒業生を代表してお一人ずつ、高等学校からお二方、AO入試を実施している国立大学を代表してお一人、それぞれの立場から各15分前後の報告が行われました。

その後、フロアからの質疑応答を含め、AO入試に対する成果について、多面的な検証・意見交換が行われました。当日は、別棟で大学入試センターセミナーが予定されていたため、時間に制約がありましたが、参加者は100名を超えるなど、盛会のうちに記念シンポジウムを終了しました。



左から柴田先生、平野入試室長、栗原会長

## 10周年記念シンポジウム〔概要〕

【日 時】 平成25年6月5日（水）12時30分～14時30分

【場 所】 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟501室

【会次第】 ・ 開 会

- ・ 主催者挨拶：栗原考次（岡山大学副学長・アドミッションセンター長）
- ・ 来賓挨拶：平野誠氏（文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長）
- ・ 柴田洋三郎先生（福岡県立大学長）

### ■パネリスト（発表順・敬称略）

白川友紀（筑波大学アドミッションセンター教授）

山谷義貴（広島大学総合科学部卒・現在：中国ジェイアールバス勤務）

小暮麻衣（九州大学21世紀プログラム課程4年）

奈良昌孝（青森県立五所川原工業高等学校長）

牧田秀子（静岡県立静岡商業高等学校教諭）

### ■コーディネーター（敬称略）

林 篤裕（九州大学基幹教育院教授）





**白川友紀** (しらかわ・ともり)

筑波大学アドミッションセンター教授

AC入試 (AO入試) が導入された経緯から入試種別入学者の特性、AC入試入学者の入学後の活躍の様子など国立AO先導大学の代表としてお話しいただきました。

**山谷義貴** (やまたに・よしとか)

広島大学総合科学部卒

現在：中国ジェイアールバス勤務

受験の動機から受験対策 (自己推薦書・志望理由書・小論文対策) まで、AO入試体験談を語っていただきました。「AO入試を通じて得られた能力は、新社会人が会社から求められる能力と一致しているように感じる」とのこと。



- ・九州大学21世紀プログラム課程とは
- ・なぜAO入試を受けたのか
  - ・合格するための準備
  - ・入試を受けた印象
  - ・現在、そして今後の展望
- ・私にとってのAO入試とは



**小暮麻衣** (こくれ・まい)

九州大学21世紀プログラム課程4年

募集がAO入試のみの「21世紀プログラム課程」に興味を持った経緯や合格対策、今後の夢まで幅広く語っていただきました。



**奈良昌孝** (なら・まさたか)

青森県立五所川原工業高等学校長

現在は校長先生ですが、進学校で進路をご担当されていた時のAO入試に対する感想や生徒指導まで、東北大のAO入試を中心に話をいただきました。

**牧田秀子** (また・ひでこ)

静岡県立静岡商業高等学校教諭

普通高校と比べると受験機会が少ない専門高校を代表して、商業教育と大学進学をどのように結びつけてご指導されているのか話をいただきました。

人物指導から  
校訓  
「剛健進取」  
日商簿記検定2級  
合格者推移  
2009年 2012年  
12人 → 64人



# News 2

国立大学アドミッションセンター連絡会議

## 第11回総会を開催

### 国立大学アドミッションセンター連絡会議 第11回総会議事要録

- 1 日時 平成25年6月5日(水) 11時00分～11時40分
- 2 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟501室
- 3 次第

寺下事務局長より開会の辞があった。(以下「役員の改選」まで事務局長が進行)

\*オブザーバとして電気通信大学が出席している旨を説明し了承を得た。

\*10周年記念シンポジウム準備のため11時40分終了予定について協力を依頼。

\*新会長の選任まで寺下事務局長が総会の進行を務める旨説明した。

#### 議事(進行：寺下事務局長)

\*議事に先立ち、配付資料を確認。伊東入試課長(静岡大学)から平成25年アドミッションセンター連絡会議名簿は、各大学からの回答に基づき作成したが、訂正等があれば後日でも構わないので静岡大学入試課に連絡願いたいこと、幹事6名は、総会前のものであることの2点の説明があった。

#### (1) 役員の改選について

寺下事務局長から、欠員となっている会長校(会長)及び任期満了となった事務局(事務局長)の後任候補者の推薦について、候補者が無い場合は、あらかじめ幹事会で相談した原案を総会に提案し、承認を得て決定したい旨の説明があった。その後、会場で候補者の推薦を募ったが、候補者がいなかったことから、幹事会の原案(会長校を岡山大学、事務局を静岡大学にすること)が了承された。任期は第11回総会から2年後の総会まで。

新会長となった栗原会長（岡山大学副学長・アドミッションセンター長）、新事務局長となった寺下事務局長（静岡大学全学入試センター長）から新任の挨拶があった。

**(2) 会則の改正について**

新会長からの発議により、新事務局長から資料1に基づき改正理由及び改正内容等について説明があり承認を得た。

**(3) 会計報告について**

事務局長から、平成24年度会計報告について説明があり、承認を得た。

**平成24年度国立大学アドミッションセンター連絡会議運営費会計報告**

平成24年4月1日～平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越	1,553,426円	第10回総会施設利用料（5/30岡山コンベンションセンター）	104,265円
会費（加盟24大学）	480,000円	10周年記念講演費（柴田先生に係る旅費及び謝金）	60,360円
		記念講演テーブル起こし料	27,690円
		AC連絡会議ニュース第9・10合併号作成費 400部	123,375円
		AC連絡会議ニュース第9・10合併号郵送費	1,846円
		10周年記念事業第1回実行委員会出席旅費 11/20 CIC東京 9名	221,200円
		10周年記念事業第1回実行委員会会議費（飲み物代）	2,000円
		次年度繰越	1,492,690円
計	2,033,426円	計	2,033,426円

**(4) その他**

会長から現幹事を再委嘱したい旨の報告があった。



# 国立大学アドミッションセンター連絡会議会則

平成15年6月4日制定 最終改正 平成25年6月5日

## (名 称)

第1条 本会は国立大学アドミッションセンター連絡会議と称する。

## (目 的)

第2条 本会は、高等学校・大学間の接続関係の改善及び加盟機関における入学者選抜等の業務改善に関する研究協議を行い、あわせて加盟機関相互の交流促進を図ることを目的とする。

## (事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、必要な事業を行う。

## (構成員)

第4条 本会は、国立大学のアドミッションセンター、及び国立大学において高等学校・大学間の接続関係の改善に関する研究及び実践に携わる機関によって構成する。

2. 本会の加盟機関は、別表に掲げる機関とする。

3. 新たに入会しようとする国立大学の機関は、総会の承認を得るものとする。

## (役 員)

第5条 本会に以下の役員を置く。

一 会 長 1名

二 事務局長 1名

三 運営委員 各加盟機関からの代表1名

四 幹 事 運営委員の中から会長の委嘱 6名

2. 会長及び事務局長は総会において選出する。任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の会長及び事務局長の任期は、前任者の残任期間とする。

3. 役員は加盟機関の代表をもって、これにあてる。

## (役員の仕事)

第6条 会長は、総会を招集し、その議長となる。

2. 会長が欠けたときは、事務局長がその職務を代行する。

3. 事務局長は、本会の運営に必要な事務全般を行う。

4. 運営委員は、本会の運営に携わる。

## (総 会)

第7条 総会は、加盟機関の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

2. 総会の議事は、出席した加盟機関の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

**(加盟機関以外の出席)**

第8条 会長が必要と認めたときは、加盟機関以外の者を総会に出席させ、意見を聴くことができる。

**(事務局)**

第9条 本会に、本会の事務を処理するための事務局を置く。

2. 事務局は、事務局長の所属する機関に置く。

**(雑 則)**

第10条 この会則に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は本会が別に定める。

**附 則**

この会則は、平成15年6月4日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成17年6月1日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成18年5月31日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成19年5月29日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成20年5月25日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成21年5月19日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成22年6月7日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成23年5月24日から施行する。

**附 則**

この会則は、平成25年6月5日から施行する。

別表 (第4条第2項関係)

北海道大学アドミッションセンター	鳥取大学入学センター
旭川医科大学入学センター	岡山大学アドミッションセンター
岩手大学大学教育総合センター	広島大学入学センター
東北大学入試センター	山口大学アドミッションセンター
山形大学エンロールメント・マネジメント部	香川大学アドミッションセンター
茨城大学入学センター	愛媛大学アドミッションセンター
筑波大学アドミッションセンター	高知大学総合教育センター
横浜国立大学大学教育総合センター	九州大学アドミッションセンター
富山大学アドミッションセンター	佐賀大学アドミッションセンター
福井大学アドミッションセンター	長崎大学アドミッションセンター
静岡大学全学入試センター	鹿屋体育大学アドミッションセンター
京都工芸繊維大学アドミッションセンター	琉球大学アドミッション・オフィス

## 国立大学アドミッションセンター連絡会議役員 平成25年度

会長：栗原考次 岡山大学副学長・アドミッションセンター長 運営委員：下表  
 事務局長：寺下 榮 静岡大学全学入試センター長 幹事：大学名の前に○を付した

大学名	氏名	役職名
○ 北海道大学	佐々木 一彰	高等教育推進機構高等教育研究部入学者選抜研究部門長
旭川医科大学	坂本 尚志	入学センター副入学センター長
岩手大学	高畑 義人	大学教育総合センター長
○ 東北大学	石井 光夫	高等教育開発推進センター教授
山形大学	福島 真司	エンロールメント・マネジメント部教授
茨城大学	泉岡 明	入学センター長
○ 筑波大学	島田 康行	アドミッションセンター長
横浜国立大学	下城 一	大学教育総合センター入学者選抜部部門長
福井大学	大久保 貢	アドミッションセンター教授
富山大学	船橋 伸一	アドミッションセンター特命教授
○ 静岡大学	寺下 榮	全学入試センター長
京都工芸繊維大学	内村 浩	アドミッションセンター教授
鳥取大学	森川 修	大学教育支援機構入学センター准教授
○ 岡山大学	佐竹 恭介	アドミッションセンター副センター長
広島大学	杉原 敏彦	入学センター長
山口大学	葛 崎 偉	大学教育機構アドミッションセンター長
香川大学	真鍋 芳樹	アドミッションセンター副センター長
愛媛大学	井上 敏憲	アドミッションセンター副センター長
高知大学	永野 拓矢	総合教育センター入試部門長
○ 九州大学	林 篤裕	基幹教育院教授
佐賀大学	西郡 大	アドミッションセンター准教授
長崎大学	星野 由雅	アドミッションセンター長
鹿屋体育大学	森 司朗	アドミッションセンター長
琉球大学	中村 肖三	アドミッション・オフィス室長

### 編集後記

国立大学アドミッションセンター連絡会議ニュース11号をお届けします。

本連絡会議の総会は、例年、入研協大会初日に大学入試センター主催で開催される「入試セミナー」の前の時間帯を使って開催してきました。ところが今回は、同じ日に定例総会のほかに「10周年記念シンポジウム」を計画したために、午前中（11：00～11：40）に総会、午後から（12：30～14：30）はシンポジウムとタイトなスケジュールを組まざるを得ませんでした。遠方からお越しの方々には大変ご迷惑をおかけしました。

10周年記念事業として掲げた記念誌の発行とシンポジウムの開催も皆様がたの多大なるご支援によって無事乗り切ることができました。あらためて御礼申し上げます。記念誌に目を通してみると、柴田先生の講演録からはAO入試導入に先駆的な役割をされた3大学のご苦勞が伝わってきますが、AOで進学してきたキラリと光る学生達の活躍の様子を知ると新たな期待感が湧いてきます。また、加盟大学の組織図をみると各センターの大学内での位置づけやミッションが大きく異なり、学内調整の困難さをあらためて認識することになりました。

中教審・高大接続特別部会における新たなテストの導入や民間試験の成績利用など政府を中心とした「入試改革」の議論が進んでいるようです。どのような答申が提示されるのか大変気になるところですが、今や国立大学の半数以上で実施されているAO入試にも大きな影響を与えることは間違いありません。大学間での情報の共有化がますます必要な状況になってくるでしょう。今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

入研協大会（第9回）は、岩手大学が共催大学になり、盛岡で開催されます。未曾有の大地震から3年が過ぎましたが、まだまだ厳しい状況が続いているようです。東北地区の一日も早い復興を祈念しております。

事務局 寺下 榮（静岡大学）



## 国立大学アドミッションセンター 連絡会議ニュース〈第11号〉

---

発行：国立大学アドミッションセンター連絡会議  
編集：静岡大学全学入試センター（連絡会議事務局）

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学  
ac-office@adb.shizuoka.ac.jp